

DiMAPS へのアクセスは
国土交通省トップページのバナーをクリック

(URL) <http://www.mlit.go.jp>

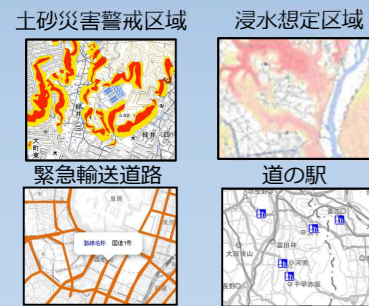


～災害情報をより早く、わかりやすく～

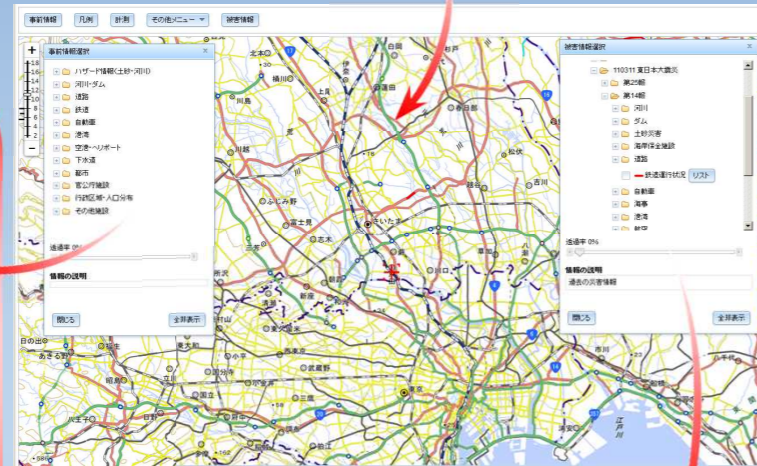
統合災害情報システム DiMAPS

(Integrated Disaster Information Mapping System)

DiMAPS が扱う事前の登録情報



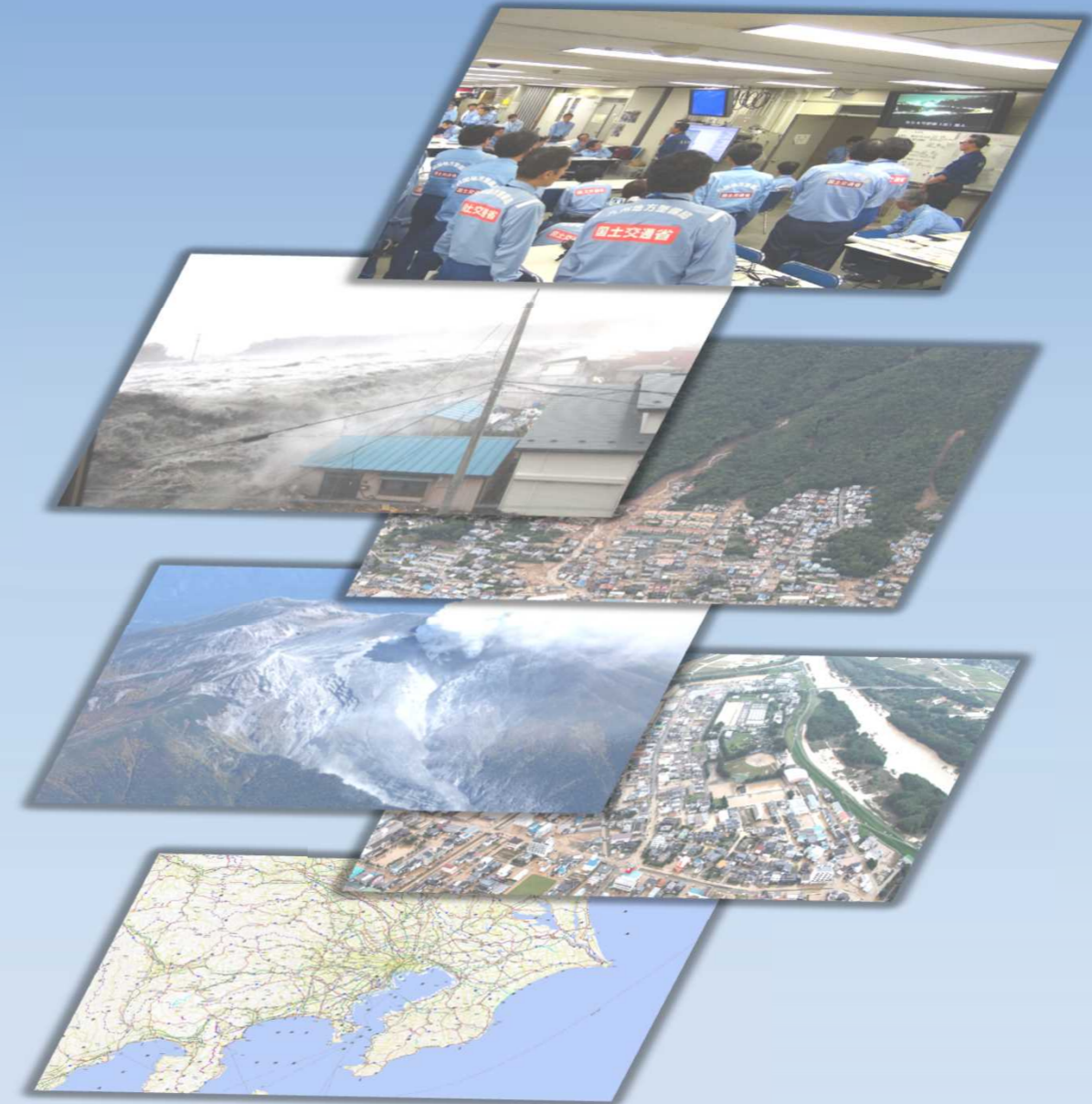
ダム、高速道路、鉄道路線・駅、バスターミナル、港湾、空港、ヘリポート、下水道処理施設、公園、官公庁施設、病院、避難施設等を地図上で表示



DiMAPS が扱う被害情報



バスターミナル、港湾、空港、下水道処理施設、公園、土砂災害等の被害情報を地図上又はリストで表示



- ※ DiMAPSの被害情報は、大規模災害発生時に「〇〇災害に関する〇月〇日〇時時点の被害情報」として時点毎に更新して表示します。
- ※ 基盤地図や登録している事前情報は定期的に更新します。(<https://dimaps.mlit.go.jp/dimaps/source/copyright.html>)
- ※ 当サイトのコンテンツを利用される場合は、国土交通省の利用規約を確認のうえご利用ください。(<http://www.mlit.go.jp/link.html>)
- ※ 本リーフレットの記載内容は2022年12月現在のものです。

国土交通省 水管理・国土保全局 防災課 災害対策室

〒100-8918
東京都千代田区霞が関2-1-3 (代表電話) 03-5253-8111

国土交通省 国土地理院 企画部 防災推進室

〒305-0811
茨城県つくば市北郷1番 (代表電話) 029-864-1111



国土交通省・国土地理院

災害情報をより早く、わかりやすく「DiMAPS」

統合災害情報システム（**DiMAPS**）は、地震や風水害などの自然災害発生時に、いち早く現場から災害情報を収集して、地図上にわかりやすく表示することができる、今までにない全く新しいシステムです。

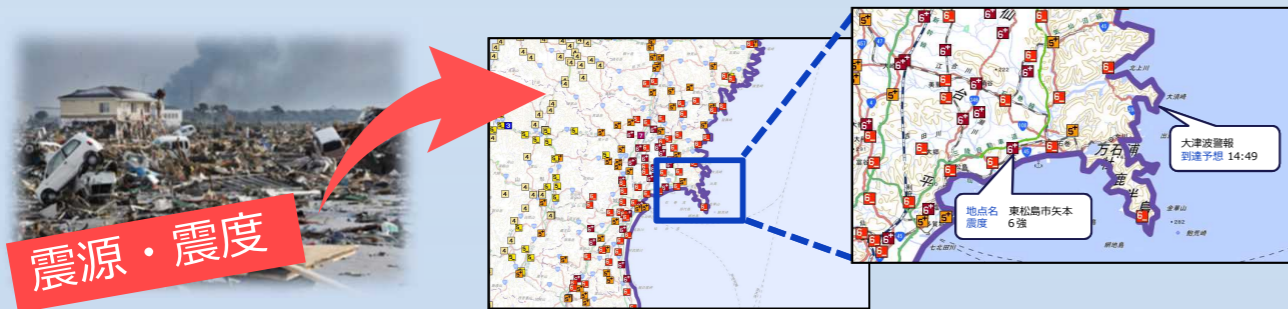
素早く集めて、どこでも誰でも見る事が可能に。

全部まとめて、自由な大きさで見ることが可能に。

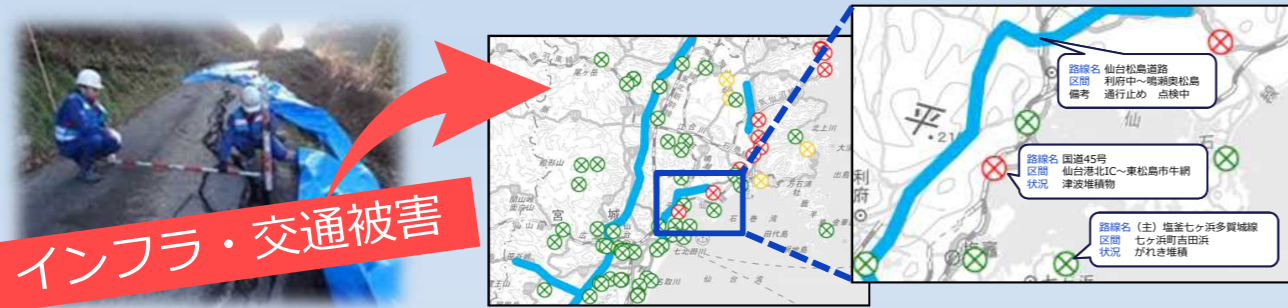
DiMAPS は、震度情報や被害情報などを、ほぼリアルタイムで地図上に表示します。このため、被害状況を迅速に把握し、共有することが可能になります。

DiMAPS は、国土交通省が収集するインフラや交通関連の被害情報を集約して、拡大・縮小可能なシームレスな地図上で、統合して表示します。これにより、被害状況の全体像の把握と、その後の的確な意思決定を支援します。

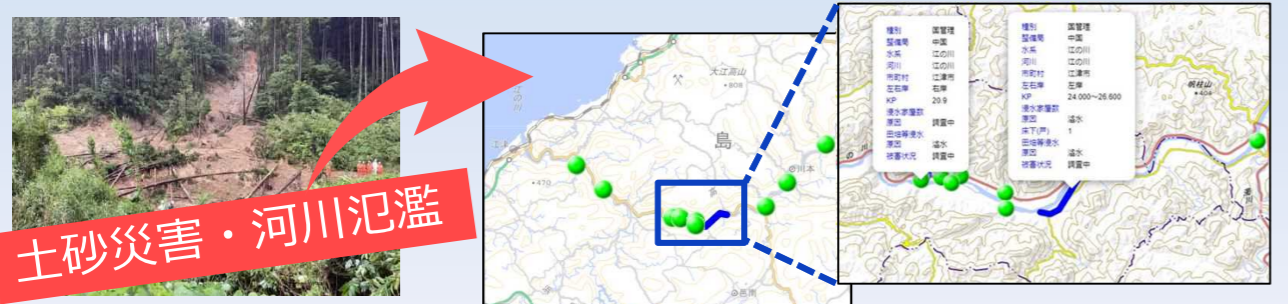
震源・震度等に関する情報を発生直後に表示します。



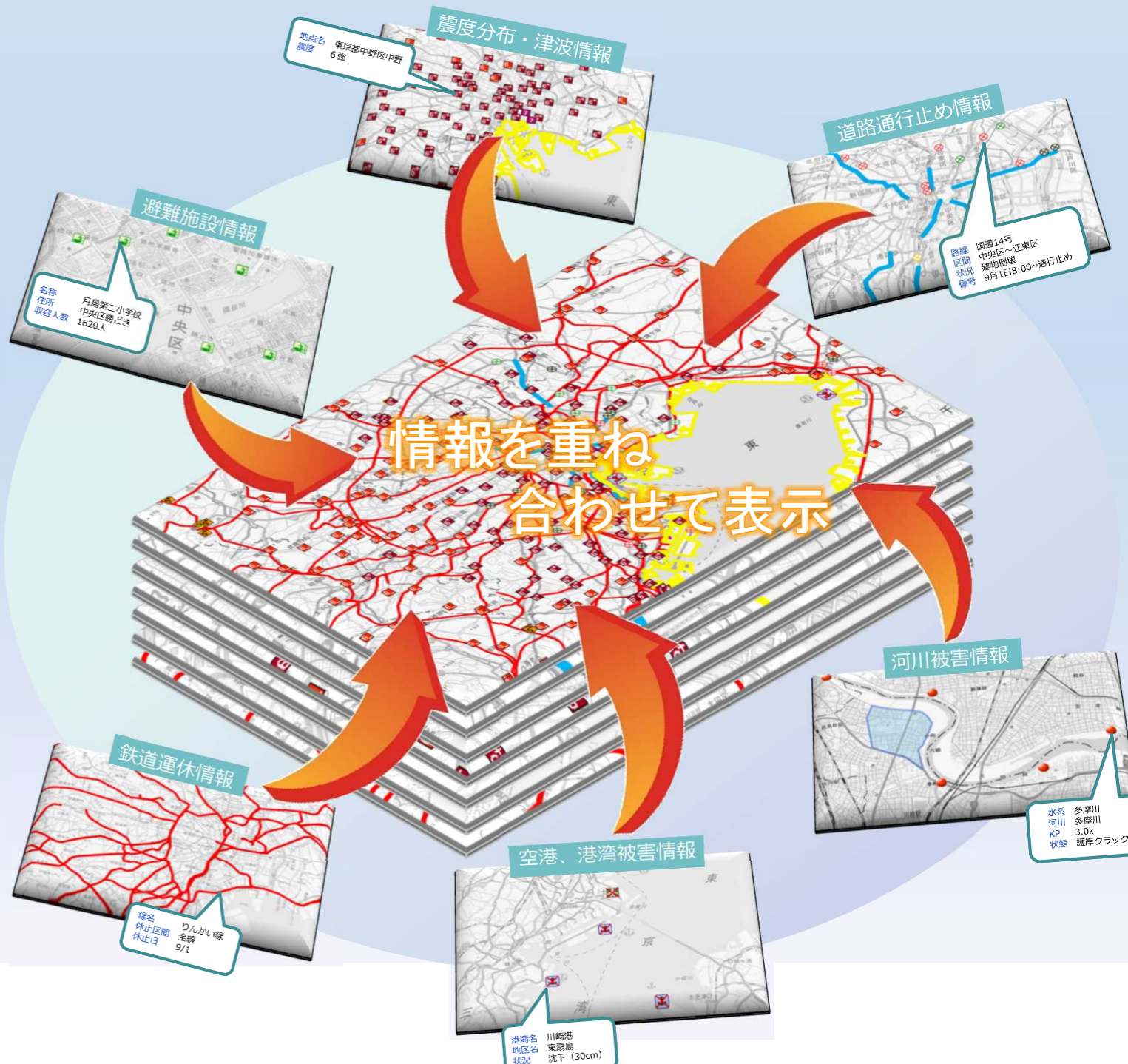
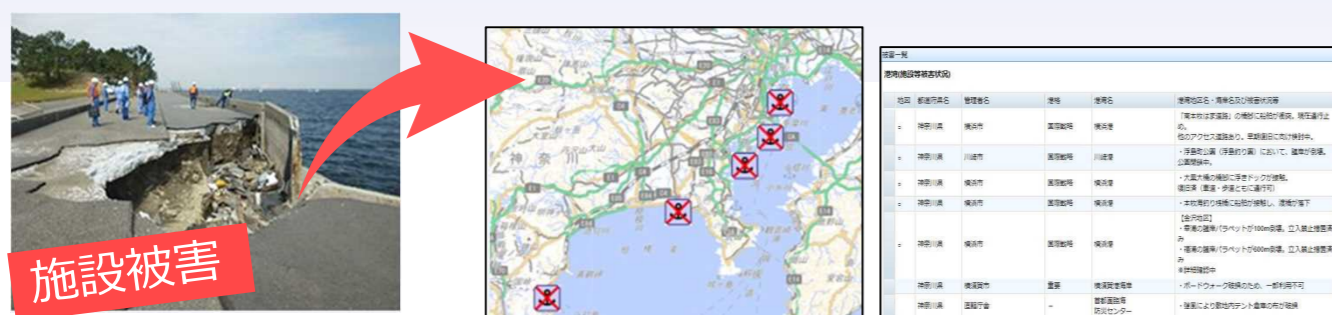
インフラや交通関連の被害情報をスピーディーに表示します。



土砂災害箇所や河川氾濫箇所の正確な位置を表示します。



空港・港湾・公園等の施設被害をリスト表示することもできます。



情報を重ね合わせて表示